

< 参考資料 用語解説 >

用 語	
【 A 】	
A H S	<p>Advanced Cruise-Assist Highway System 走行支援道路システム</p> <p>事故の防止等の安全運転を支援するため、道路上の情報をセンサー等によって収集し、ドライバーに危険警告を行う「A H S - i」や、状況によりハンドルやブレーキ制御等の運転補助を行う「A H S - c」等を実現するシステム。</p>
A S N . 1	<p>Abstract Syntax Notation One 抽象化構文記法</p> <p>特定のコンピュータ構造や表現形式に依存せずにデータタイプを表現するために O S I で定めた表記法。データ構造を記述するための一種のプログラミング言語。論理型、整数型、ビット列型、集合型など、さまざまなデータ形式が定義されており、これらを組み合わせることで、複雑なデータ構造を実現することができる。</p>
【 D 】	
D A T E X - A S N	<p>Data Exchange- Abstract Syntax Notation One Protocol</p> <p>I S O / T C 2 0 4 で開発されたアプリケーション層のプロトコル。A S N . 1 で表記したメッセージ（要求 / 応答メッセージ）を異システム間で交換する場合に使われる。</p>
D D	<p>Data Dictionary データディクショナリ（参照 = データディクショナリ）</p>
【 I 】	
I P	<p>Internet Protocol インターネット プロトコル</p> <p>インターネットを構成する通信機器が共通に使用する通信プロトコルで、O S I 第 3 層（ネットワーク層）に当り、信頼性を保証しないコネクションレス型プロトコルである。</p>
I S O I S O / T C 204	<p>International Organization for Standardization 国際標準化機構</p> <p>工業関連分野の規格統一や標準化を行う国際機関。分野ごとに専門委員会（T C）、分科会（S C）、作業部会（W G）が設置されている。規格案は数段階の審議を経て最終的に I S（International Standard）となる。</p> <p>I S O において、I T S に関する標準化を進めている専門委員会が T C 2 0 4 である。</p>
【 M 】	
M S	<p>Message Set メッセージセット（参照 = メッセージセット）</p>

【O】	
O S I 基本参照モデル	<p>Open Systems Interconnection - Basic Reference Model 開放型システム間相互接続基本参照モデル</p> <p>O S I の7つのレイヤごとにネットワークの機能を規定したネットワーク階層モデルのこと。それぞれのレイヤが相互に情報を受け渡ししながら、データを転送していくしくみ。このモデルに従ってネットワーク用のハードウェアやソフトウェアが開発される。</p>
【P】	
P T	<p>Protocol</p> <p>道路通信標準では、プロトコル(参照=プロトコル)のことをP Tと略している。</p>
【こ】	
高度道路交通システム (I T S)	<p>Intelligent Transport Systems</p> <p>最先端の情報通信技術を用いて人と道路と車両とを一体のシステムとして構築することにより、ナビゲーションシステムの高度化、有料道路等の自動料金収受システムの確立、安全運転の支援、交通管理の最適化、道路管理の効率化等を図るものである。</p>
互換性	<p>Interchangeability</p> <p>ある製品、行為又はサービスが、同じ要求事項を充たすように、別のものに置き換えて使用できる能力。なお、compatibility は「両立性」と訳され、「組み合わせるに用いる二つ以上の製品又はシステムが、所定の条件の下で相互に不当な影響を及ぼすことなしにそれぞれの効用を発揮する性質」を意味する。</p> <p>道路通信標準では、ネットワークを介して接続される機器や装置を調達する場合、プロトコル、データの意味、メッセージの形式、機能などの仕様を同じにすることによって、ベンダーが異なっても代替して使用できることを意味する。</p>
コンポーネント	<p>Component</p> <p>ハードウェアやソフトウェアで特定の機能を果たす部分。とくにソフトウェアに対して用いられる。</p> <p>道路通信標準では、収集系、交換系、提供系など多くのシステムに共通する基本的な通信処理機能を意味する。</p>
【し】	
システムアーキテクチャ	<p>System Architecture</p> <p>システムに要求される目標を最も効率的に達成するため、システムを構成する各サブシステムが分担すべき機能や相互のデータのやり取りを規定する枠組み。大規模システムや新規システムの設計に先立って行われる計画検討のアウトプット。日本では、I T S 関係5省庁がV E R T I S の協力を得て1999年11月に完成した。米国は、1996年夏にシステムアーキテクチャを公表し、I T S 標準化五箇年計画や新交通基盤(I T I)の構築計画に活用している。</p>

【そ】	
相互運用性	<p>Interoperability</p> <p>異なるシステム間でアプリケーションも含めてサービスの提供が可能となること。 道路通信標準では、ネットワークを介して相互接続されたセンタとセンタ間、センタと路側装置間、路側装置と車載器間で、相手装置が持っている情報やサービスなどを相互に利用し合うことによって、効率的にシステムを構築して、運用できることを意味する。</p>
相互接続性	<p>Interconnectivity</p> <p>異なるシステム間が相互に接続され、情報のやり取りが可能となること。 道路通信標準では、ネットワークを介して接続される装置相互間で通信の手順や方法の約束ごとであるプロトコルを統一することによって、情報を正確に送受信できることを意味する。</p>
【て】	
データ エレメント	<p>DE : Data Element</p> <p>情報を構成する単独で意味ある値を持つ最小単位のデータ。</p>
データセット	<p>DS : Data Set</p> <p>メッセージを構成する情報の最小単位でありデータの最小単位であるデータエレメントの集合体。</p>
データ ディクショナリ	<p>DD : Data Dictionary</p> <p>情報を構成する各データエレメントの定義と利用方法を一意に規定し、参照できる形で収録した辞書。</p>
【ふ】	
プロトコル	<p>Protocol</p> <p>情報をやりとりするための通信規約。システム間を通信により接続する際には、その通信に固有の情報処理のルール（通信規約）があり、これが異なると通信できない。このルールをプロトコルと呼んでいる。</p>
プロトコルセ ット	<p>Protocol Set</p> <p>複数のプロトコルの組合せ。プロトコルスイート（protocol suite）とも呼ぶ。 道路通信標準では、道路管理者の通信システムに適用するプロトコル規約として、OSI基本参照モデルに基づき、各層のプロトコル仕様を組合わせた単位を意味する。上位レイヤ（ネットワーク層からアプリケーション層）と下位レイヤ（物理層、データリンク層）毎に定義される。</p>
【め】	
メッセージセ ット	<p>Message Set</p> <p>システム間で交換される一連の情報からなるメッセージの解釈を相互に間違いなく行うために、一連の情報を定められた順序で並べた、情報の最小単位であるデータセットの集合体であり、抽象構文記法であるASN.1によって表現されている。</p>